



真美中だより

令和6年度
1月号

令和7年1月8日発行
発行者：校長 西畑



大きくステップアップする年に！

あたらしく 年の始にかくしこそ 千歳をかねてたのしきをつめ

【意味】 新しい年の初めには、このように千年にわたって楽しいことを重ねていこう
【採録】 古今和歌集（こきんわかしゅう）
【作者】 詠み人知らず…作者が不明か、またはそれを明らかに示しにくい事情があるときに記載する語

令和7年（2025年）がスタートしました。皆様にとりまして、今年もすばらしい年でありますように、念じております。

また、旧年中は本校教育の推進に多大なご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今年も、昨年にも増してよろしくお願いいたします。

さて、3学期は、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、1・2学期と比べて短く、2ヶ月半しかありません。限られた日数の中で、時間を大切に使い、学年の学習のまとめの時期として、必要なことを着実に身に付ける取組を深めてもらいたいと思います。そのことが次の学年の学習を支え、基礎となっていきます。当たり前のことを地道に積み上げることが大きな力になります。一人一人が、今一度、日々の小さな頑張りを積み重ねてこの3学期を過ごしていくことを期待します。

特に、3年生にとっては高校入試という大きな壁を乗り越えていかなければならない時期になります。早寝・早起きをして、生活リズムを崩さないように注意しながら、これまでも増して学習するとともに、「努力は裏切らない」という言葉を信じ、自分の目指す目標に向かって一步一步粘り強く学習を積み上げてほしいと思います。



「性の多様性について」講演会

12月13日（金）の3・4限目、「性と生を考える会」よりゲストティーチャーをお招きして全校生徒を対象に講演会を行ないました。

「自分らしく生きるとは？ ～性の多様性から考える自分らしさ～」という演題で約75分間ご講演いただきました。

講演の中で、多様性を認める思考の柔軟性が大切であること、また、自分らしさとは何か？ということを考え続けることが大切である、というお話がとても印象に残りました。



めざす生徒像

☆基礎・基本を定着させ、自ら学び考えて行動できる生徒（確かな学力）
☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく社会参画できる生徒（豊かな心）
☆明るく元気でたくましく心身を鍛える生徒（たくましい心身）

校訓

学び鍛える人たれ
明るく優しき人たれ
耐え忍べる人たれ

1 月 学 校 行 事 等

1 月 JANUARY

SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
 1 元日			1 元日	2	3	4
5 小寒	6 冬期休業終了	7 3学期始業式 学活	8 3年学力診断テスト (3年3限下校) 給食開始	9 3年学力診断テスト (3年3限下校)	10 45分×6限 心	11
12	13 成人の日	14 45分×6限 3年給食終了後下校	15 県SC	16 45分×6限 町SC	17 3年給食終了後下校 心	18
19	20 45分×6限	21	22 全学年 3限下校 (給食なし)	23 3年給食終了後下校 町SC	24 新入生保護者 説明会 心	25
26 町SC	27	28	29 県SC	30	31 45分×6限 心	

県SC……北野先生

町SC……松本先生、松村先生

心（心の相談員）……小西先生

今月の一言

人生のほとんどすべての不幸は、自分に関することから生じて、あやまった考え方をするとところから生じる。できごとを健全に判断することは、幸福への大きな第一歩である。

スタンダール

（フランスの小説家、『赤と黒』の著者 / 1783～1842）

